



授業で勝負・先手必勝の挨拶・心を耕す読書

金ケ崎町立金ケ崎中学校
令和2年度校報
第1号
令和2年4月14日発行
文責：高橋

よろしくお願ひします

紹介式

令和2年度のスタートとなる4月7日(火)に本年度本校に着任した職員の紹介式を行いました。着任された職員は次の通りです。

- 校長 **高橋 広明** 先生
軽米町立軽米小学校より
- 教諭 **高橋 聖至** 先生 <技術>
北上市立上野中学校より
- 教諭 **澤田 直美** 先生 <英語>
紫波町立紫波第一中学校より
- 教諭 **神崎 真樹** 先生 <保健体育>
奥州市立水沢中学校より
- 教諭 **千田 里子** 先生 <社会>
奥州市立水沢中学校より
- 教諭 **佐々木睦未** 先生 <家庭>
新採用
- 講師 **高橋 優香** 先生 <社会>
- 講師 **小倉 美月** 先生 <英語>
スクール・ソーシャル・ワーカー (非常勤)
- ELT **佐々木 美枝** 先生
Andrew Calverly 先生
(アンドリュー カルバリー)
- 特別支援員 **小野寺 美晴** 先生
- 特別支援員 **齋藤 真由美** 先生
- 学校適応相談員 **朝倉 柚夏** 先生

以上のメンバーが加わって、令和2年度の新体制となります。教職員が一丸となって、生徒の皆さんの健やかな成長を支えて参ります。どうぞよろしくお願ひします。

1学期始業式

紹介式に引き続き、令和2年度第1学期始業式を行いました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で春休み中に部活動もできず、久しぶりの登校でしたが、2年生は学級編成した学級の仲間と新たな気持ちで、3年生は金ケ崎中学校の最高学年としての自覚を持ち、それぞれ引き締まった表情で、始業式に臨む姿が見られました。校長からは、次のような話をし、生徒の皆さんを激励しました。

<校長からの話の概要>

1. 金ケ崎中学校で勤務し始めて感じたこと。
(1) 「先手あいさつ」の掲示について
生徒会執行部による「先手あいさつ」の掲示が印象的であり、生徒の皆さんがさわやかな挨拶でしっかりと実践しているなと感じました。
- (2) 4Bポスターについて
校長としても大切にしたいと思っていることで、新入生と一緒に、これから行動で示してくれることを期待しています。
2. 令和2年度のスタートに当たり、生徒の皆さんに大切にしてほしいことと理解してほしいこと
(1) 目標を持ち、時間を大切にすること
今、自分が目標として頑張ろうと考えていることは何か、そして、やるべきこと、できることは何かを確認してほしいと思います。新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大により、「当たり前」に思えた事が、当たり前でない。」状況と言えるかもしれませんが、目標を持ち、時間を大切に過ごしてほしいのです。
きっと私たちは乗り越え、頑張りたいと思っていることを思う存分頑張れる時が来るはずですから、今から目標に向かって、自分にできること、やるべきことに一生懸命取り組み続けましょう。そして、その時に、生徒の皆さんが力を発揮できるようであることを期待しています。

きことに一生懸命取り組み続けましょう。そして、その時に、生徒の皆さんが力を発揮できるようであることを期待しています。

(2) 行事等の実施の仕方について

感染拡大の影響で、対面式や体育祭などの行事をこれまで通りにはできない状況であり、規模縮小での実施を検討しています。伝統ある金ケ崎中学校の全校生徒が、各行事で、躍動する姿を見ることを楽しみにしていましたが、規模縮小での実施は、皆さんも残念な気持ちになると思いますが、理解してほしいと思います。この経験を乗り越えることで、皆さんがたくましく成長するものと、前向きにとらえていきましょう。

3. 新型コロナウイルスの感染防止について

石鹸で丁寧に手を洗うことや咳エチケットなど、自分自身はもちろん、家族や大切な人の命を守る行動を心がけ、一日も早く、通常の学校生活を送られるよう、そして大切な仲間とともに、少しでも充実した学校生活を過ごせるようにしていきましょう。

第56回入学式 141名の新入生を迎え挙行

4月7日(火)の午後に「第56回入学式」を挙行しました。来賓として町長高橋由一様、町議会議長伊藤雅章様、町教育長千葉祐悦様、そして町内各小学校校長の皆様をお招きし、たくさんの保護者の皆様に参列頂き、挙行することができました。

新入生の皆さんは、やや緊張した面持ちでしたが、呼名に対しても立派に返事をし、最後まで姿勢よく式に臨むことができました。



入学式に姿勢よく臨んでいる新入生

校長からは、入学をお祝いする言葉とあわせて、本校の学校教育目標に込められている願いについても話をしました。また、翌日からの学校生活では275名の頼もしい先輩たちとたくさんの先生方が、夢や志の実現に向け努力する新入生の皆さんを励まし、支えてくれるであろうことを伝えました。

また、保護者の皆様には、本校の教職員とともに力を合わせて子どもたちの成長を支えていかなければならないということ、日々成長するお子様との距離を保ちながら、見守り励ましていただきたいことをお願いいたしました。

そして、最後に、伝統ある金ケ崎中学校の一員として、金ケ崎中学校がより一層地域に誇れる学校とできるように、学校生活に励んでいってほしいという期待を伝え、式辞としました。

部活動見学始まりました

1年生にとって、中学校生活で楽しみにしている活動の一つが、部活動だと思います。金ケ崎町では、幸いにも部活動を再開することができましたので、それに合わせて、1年生が3年間活動する部を選択するための部活動の見学を始めました。初日は、残念ながら雨の中での見学となってしまいましたが、2・3年生は、それぞれの活動の様子をしっかりと伝え、たくさんの1年生に入部してもらえるように、張り切って活動をしていました。

各部の活動の様子をしっかりと見て、その後の体験を通して、自分に合った部活動を選択してくれることを願っています。ご家庭でも、見学や体験の様子を聞いていただきながら、アドバイスをしていただくようお願いいたします。

<校報の発行にあたって>

前任の遠藤先生の後を受け、高橋が担当します。遠藤先生のようにはいきませんが、生徒の活動の様子をお伝えしていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

なお、校報の題名は引き続き「きざはし」とします。「きざはし」とは、漢字で「階」と書き、階段とか段々といった深い意味があり、そのまま使わせていただくこととしました。